

アクセスマップ

「くじらしま」は、昭島市内の以下の3園で開催している地域の子育て支援事業です。

たまほいくえん

〒196-0033
昭島市東町 5-1-40
☎ 042-544-1151



ながみほいくえん

〒196-0025
昭島市朝日町 5-4-17
☎ 042-545-0255



イコロ昭和の森

〒196-0002
昭島市拝島町 4041-1
☎ 042-545-0156



KUJIRASHIMA・CONTENTS

子育て支援コンテンツ

「くじらしま」ではさまざまな支援活動をしています。地域で子育てを行っている方は、どなたでもご参加いただけます。 ※なお、新型コロナウイルスの影響によりイベントや活動を中止する場合もございます。詳細は、右下のQRコード（ホームページ）より、都度ご確認ください。

イベントパーク（行事体験）

園の行事に参加、体験いただけます。

デイリーパーク（体験保育）

親子で日常の保育生活を体験（お子さまの給食有。無料）

子育てワークショップ

ミュージックダンス、わらべうた、食育、子育て広場、子育てサークル

たまごパーク

妊婦さんや0歳児が対象の遊び場。身体測定も実施。

ひよこパーク

在園児以外のお子さまが対象の遊び場です。

育児相談（随時受付）

各園にて受付けています。時間はご相談ください。

園内見学（随時受付）

各園にて受付けています。時間はご相談ください。

一時預かり保育（有料）

地域のお子さま対象です。詳細は各園へお問合せください。

※子育て支援「くじらしま」の詳しい情報やスケジュールはこちらのQRコードからご覧いただけます。



多摩育児会の子育て支援事業「くじらしま」は昭島の子育てを応援しています！

こそだておうえんマガジン

くじらしまだより



もくじ

WINTER INTERVIEW
ほいくの4コマ「ウルトラマンヘブン」
おうちでできるシリーズ
けいじばん
子どもと一緒にあそぼう！

……02
……03
……04
……06
……07

2022-23 WINTER

1-3月



WINTER INTERVIEW

みんなの大きなうち たまほいくえん

昭和21年開園の多摩育児会で一番歴史のある「たまほいくえん」。令和4年に園舎が新しくなり、創設当時の理念と歩みを継承しながら、これからの時代を見据えた新しい一歩を踏み出した、新園長の小出智子先生にお話をお聞きました。



Q：たまほいくえんについて教えてください。

小出園長：たまほいくえんは、戦後何もなかった焼け野原をかけている子どもたちを見

て、『子どものための場所を作りたい』という思いから初代園長の古屋佐吉郎が昭和21年に開設して今年で77年を迎えました。創業者の言葉である互いを信じ合い互いを譲り合える『互信互譲』を信念に、人と人との和、未来の平和をみんなで大切に考えられる場でありたいと考えています。

Q：小出先生はずっとたまほいくえんで勤務なさっているのですか？

小出園長：私は新卒からこの園で勤務をしています。たまほいくえんは以前から、モンテッソーリ活動、草木染、紙すき、奥多摩の山で行う自然活動、くじらまつりパレードでの鼓笛隊、



スケート教室やスイミングなど、子どもたちに多様なプログラムを準備し保育を行っています。このような体験は、子どもたちだけではなく職員の学びの場でもありました。また、旧園舎は「森の中のほいくえんみたい」と言われ、緑と家庭的な暖かい雰囲気であんなから愛されていました。昨年度、老朽化や耐震化により建て替えを行いました。建て替え中は、お隣の昭和公園の敷地をお借りして、可愛い平屋建ての仮園舎で1年間楽しく過ごすことができました。そして令和4年2月より新園舎にて保育をスタートしました。また、3年前には分園『HONU』という0～2歳児を対象にした施設がオープンしました。20年以上勤め、多くの子どもたちの成長や園の変化にも立ち会ってきました。今までもこれからも、『子どもを大切に』『大人も大切に』できる園でありたいと思います。

Q：「縦割り保育」を大切にしているのは、なぜですか。

小出園長：たまほいくえんでは30年以上縦割り保育を行っています。大きな子が見本となり小さな子に思いやりを持ち関わる。子どもが自信を持って活動に参加する。そこには、子どものための社会がしっかりできています。乳児クラスでも縦割りができないか考え、乳児縦割り保育を学び10年ほど前から乳児クラスの縦割り保育を導入しました。縦割り保育は異年齢児との関わりを通して発達していく為、特に食事や排せつ面での成長を感じます。大人の指示ではなく、少し大きなお子さんの見本がある事で自然



と身についていく、考えられる環境ができます。子どもが主体となった生活には、とても広がりがあり可愛い関わりを見ることができます。そんな保育を大切にしたいと考えています。

Q：新園舎や分園を施工する際には、保育活動をふまえた空間設計を綿密に行ったようですね。

小出園長：園舎を設計する際に気を付けたことは、子どもたちが心地よく・職員が働きやすい空間である事を意識しました。生活動線を考えスムーズに生活ができる事、遊び込める空間作り、安心して過ごせる雰囲気など工夫をしました。中でも、雨の日など悪天候の際の困り事についても考えました。戸外に出られない際に、

身体を動かすことのできる広いテラスやエントランス。雨天時の登降園の際に濡れる心配のない大きな屋根のある自転車置き場なども導入しました。正面玄関を入ると靴のま

ま各クラスまで行く事ができる土間作りも本園・分園共に取り入れました。靴を履いたまま園内を移動したり遊ぶことができるため、生活や遊びの幅が広がったように感じます。これからもこの環境を使い、気持ちの良い空間で充実した活動が送れるように日々工夫をしていきたいです。

Q：最後にひとことおねがいします。

小出園長：時代の移り変わりと共に子育ても保育も変化していますが、いつの時代にも、子どもが過ごしやすく大人が通いやすい、誰もが立ち寄れる『みんなの大きなうち』として、これからもあり続けたいと思っています。

Aコマエッセイ 日々是保育 ウルトラマンヘブン

園のできごとを多摩育児会の保育者が4コマまんがでお伝えします！



やってみよう！

1 モンテッソーリ教育 葉のほこりを はらう、掃く

【用意するもの】

- 羊毛で作ったダスター（羊毛で作ったダスターで葉のほこりをはらいます）
- 子どものサイズに合ったほうき



【日常生活の練習】の活動の中には、自己自身への配慮、環境への配慮があります。今回は、掃いたり、拭いたり、磨いたり身近な環境を整える活動を紹介しします。活動を通して手先の運動が洗練されることはもちろんですが、自分の環境を大切にすることを子どもたちは学んでいきます。

ほうきの先が床から離れないように動かしたり、掃く力をコントロールするなど動作は難しいですが、繰り返し行うことで手先のコントロールが出来るようになります。



今回は、多摩育児会ではおなじみのわらべうたうたいの坂野知恵さんに、お正月や寒い冬にちなんだわらべうたをご紹介します。家族みんなと一緒に、この時期ならではのわらべうたを楽しみ歌って、心も体もポカポカになりましょう♪（QRコードから、ちえさんのわらべうたの動画をご覧ください）

【せんべい せんべい】

せんべい せんべい やけた
どのせんべい やけた
このせんべい やけた
（ひっくり返して・・・）

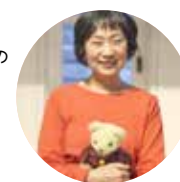


ポイント：手をおせんべいに見立てて、焼いたり食べたりする動作で遊びます。味つけやトッピングは、お好きなものをどうぞ。あむあむと食べる真似をして、手を揉んだり息をかけたり。そうしているうちに、手を温めてあげることもできます。家族で役を交代しても楽しいですね。



【どんぶかっか】

あったまってあがれ かわらの
どじょうが こがいをうんで
あずきかめか
つづらのこ つづらのこ



ポイント：長野のわらべうた。入浴のうた。寒い時季には、湯舟で温まりたいですね。そんな時にはこの歌。お風呂でなくても、おひざの上で体を揺らしながらどうぞ。歌ったあとは、ゆっくり10数えて、最後の10ではギュッと抱きしめてあげてください。お互いに、心も体もあったまること請け合いです。



3 つくってたべよう！ 季節のレシピ 七草がゆ

【七草がゆレシピ（子ども4人分）】

米…70 g 水…300 g
七草（好きな野菜でもOK）…70 g ぐらい
かつお・昆布だし汁…120 g
塩…小さじ 1/3 弱

作り方：

- ①米を研いで水に30分浸水させる。
- ②火にかけ沸騰したら10分弱火。
- ③蓋をして10分蒸らす。
- ④だし汁を加えて更に蒸す。
- ⑤茹でた野菜を加えて混ぜる。
- ⑥塩で味を整えたら完成！

七草とは、「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぞ、すずな、すずしろ」のこと。お正月にごちそう三昧だった疲れた胃腸を労わったり、胃の調子を整えるためにお粥に七草を入れて食べます。また、無病を祈って食べる意味も込められています。





幼保連携型認定こども園 ミナパもくせいのもり



東京都昭島市もくせいのもり 1-2-3 (完成イメージ。現在建設工事中)



来年度オープンに向けて着々と工事が進んでおります。また、先日行った入園説明会では150名近くの方にご参加いただきました。ありがとうございました(説明会での資料や質疑応答についてはホームページからご覧いただけます)。



イコロ
昭和の森

2023年度1号認定園児 2次募集を行います!

詳しくは各園のQRコードから
ご覧ください。



ミナパ
もくせいのもり

令和5年1月8日(日)第68回 昭島市新春駅伝競走大会 開催!

多摩育児会の職員と園児の保護者で毎年挑戦していた「昭島市新春駅伝競走大会」が3年ぶりに開催されます。そして、今回も参加します! 5人1チームで1人1周(約2.2km)の継走。コースは残堀川調節池をスタートして公道を南下して「もくせいのもり」交差点を曲がり、昭和記念公園 昭島ゲート付近を折り返すコースとなっています。



【くじらロード商店街】東中神団地と昭島玉川町アパートに間にある商店会。ドラマの撮影などにも使われているちょっと懐かしいノスタルジックな商店街です。



【東京都農林水産振興財団(東京都農林総合研究センター)】

東京都農林総合研究センターは、東京都における農林業の技術開発を担う公的試験研究機関ですが、敷地内には一般の人でも入ることができるエリアがあります。広い敷地内にある手入れの行き届いた花と緑の散歩路、香木園、みどりの展示園など、四季折々の植木をみながら散歩を楽しむことができます。



【三光湯(銭湯)】東町4-11-1(15:30-22:30 日曜は15:30から) 煙突が目印の昔ながらの希少な宮造り建築の銭湯。ジェット、パイプ、水風呂、サウナ、薬湯があります。駐車場も完備。



たまほいくえん周辺お散歩エリア

JR 青梅線「西立川駅」「東中神駅」とも徒歩8分にある「たまほいくえん」。周辺には、緑豊かな昭和公園や、スポーツ施設、実は一般の人の中に入って散策できる「農業試験場」など、親子でお散歩を楽しむことができる充実したエリアです。また、昭島のシンボル「あきしまくじら」にちなんだスポットも多いので、「くじら探し」もおすすめです。



【昭島市総合スポーツセンター】体育館、柔道場、剣道場、弓道場、研修室、クライミング施設等があります。屋内プールやトレーニングルームは300円以下で利用可、屋内プールはオムツの取れた3歳児から利用できます。9:00~22:00 開館(第1・3月定休・祝日の場合はその翌日)



【地下水の汲み上げ給水スポット】「プラスチックマイナス1運動」の推進の一環で設けられた東中神駅南口の「ちかっぱー給水スポット」。深層地下水100パーセントの「あきしまの水」を無料で給水できます。マイボトルやマイカップ持参で、行ってください(抗菌・抗ウイルス対策済みで、安心して利用できます。)



【昭和公園】多摩保育園の子供たちは毎日のように遊びに行っている緑豊かな公園。サッカー場と陸上競技場、テニスコートがあります。敷地内には蒸気機関車D51の展示(中に入ることができます)や小動物園や滑り台やブランコ、砂場などの遊具もあり、のびのびと遊べ、子どもたちに人気のある公園です。